

倉敷市国土強靱化地域計画

○令和3年3月見直しの概要

近年、台風の大型化、前線の停滞による集中豪雨が多発し、河川の氾濫、土砂災害に加え、今後、30年以内に南海トラフ地震による大規模自然災害の発生リスクが高まっており、市内に甚大な被害がおよぶことが懸念されています。

このようなことから、大規模自然災害が発生しても機能不全にならない迅速な復旧・復興が可能な地域社会づくりを推進するため、岡山県の計画見直し、平成30年7月豪雨災害や近年の災害の教訓、さらに、災害時の避難所における感染症対策も踏まえ、計画の改定を行い、本市における強靱化の取組をさらに推進してまいります。

○新たな重点取組項目の主なもの

重点取組項目：河川施設の整備において、評価指標：耐震計画を策定した大規模な河川管理施設（排水機場）箇所数の現状0箇所、目標を7箇所とし、重点取組項目：宅地の耐震化において、評価指標：第2次スクリーニング計画の策定を令和4年度に策定することとしています。

重点取組項目：要配慮者の避難対策等においては、評価指標：地区防災計画取組件数の現状14件、目標を150件とし、重点取組項目：ため池の老朽化対策及び耐震化対策において、評価指標：ため池ハザードマップ作成率の現状28%、目標63%としています。

その他にも、水防活動拠点の整備、内水対策、避難所における感染症対策などを新たに重点取組項目に追加しています。